

異動対策 & 特別期間の諸課題達成に全力を!

第4波の感染拡大? いまこそ大規模検査 を急げ! 緊急要請を

春の訪れとともに感染リバウンドが始まっています。愛知県でも変異株が確認されました。予算議会でも取り上げていただいたとは思いますが、事態が急変しつつあります。あらためて市町村への緊急の申し入れを行いましょう。申し入れの案文を参考にお届けします。



□□□□□□□□ □□□□□殿

2021年4月 日

日本共産党□□□□□□□□

新型コロナウイルスを封じ込めるための大規模検査を求める申し入れ

政府は、首都圏一都三県の感染者数が低下してきたことから、緊急事態宣言を3月21日に解除しました。しかし、新規陽性者数は下げ止まるどころか上向く傾向にあり、新型コロナウイルスの封じ込めには本格的に大規模検査に取り組むことが求められています。

愛知県は政府の通知に基づき、高齢者施設等での感染拡大や新たなクラスターの発生予防を目的に、高齢者入所施設等職員に対するスクリーニング検査を3月中に1回実施します。高齢者施設等での社会的検査が始まったことは一歩前進ですが、専門家からは頻回の検査が必要なことが指摘されており、対象が入所施設に限られ、訪問介護・看護やデイサービス、居宅介護支援事業所といった訪問系・通所系事業所の職員が除外されていることも問題です。これでは、新型コロナウイルスを封じ込めることはできません。検査費用の2分の1を自治体負担としている現状を変え、政府が検査費用を全額負担することも必要です。同時に市町村にも臨時交付金を使って県の検査を補完する検査事業が求められています。

政府は緊急事態宣言が解除された地域の繁華街等で行うモニタリング調査を1日1万件の計画としていますが、これでは13都道府県が対象とした場合、1県当たり1日千件にもなりません。最低でも1日10万件は必要です。

また、今後は感染力が強いとされる変異株が流行の中心になると言われています。愛知県は陽性者に占める変異株検査の割合を引き上げ、陽性者を確認しました。変異株の広がりを把握する検査をさらに充実させ、陽性者周辺へ疫学調査を集中させて封じ込めるなど、あらたな対策が求められます。

以上から、貴職に対し、以下のことを求めるものです。

記

- 1、〇〇市・町はスクリーニング検査の回数を増やすため高齢者施設等への補助を行うこと。
- 2、愛知県に対し、以下のことを求めること。
 - ①検査する対象を高齢者施設の職員だけでなく、利用者にも広げること。こうした社会的検査を高齢者施設だけでなく、医療機関、保育園、学校等にも広げること。
 - ②変異株の検査を大学や民間研究機関等に協力依頼するなど検査体制を拡充すること。
 - ③変異株の蔓延状況や新たな感染対策等の情報を市町村と共有し連携を強めること。
 - ④保健所のトレーサーの大幅増員など大規模検査にふさわしい体制をとること。
- 3、政府に対し、以下のことを求めること。
 - ①高齢者施設等の社会的検査費用を全額国庫負担し、検査対象を入所者や保育施設等に広げること。
 - ②モニタリング検査を1日1万規模から1日10万規模に拡大するよう求めること。
 - ③変異株の疑いを検査する検査の割合を大幅に引き上げること。

以上